

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1439
施設名	葛飾高砂たいよう保育園
施設所在地	東京都葛飾区高砂7-15-11
法人名	社会福祉法人まあれ愛恵会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然体験（5歳児）

<テーマの設定理由>

- ・ 普段の生活の中で自然の中での活動の経験を通して、お友だちと作ったり、協力したりしながら一つの物をみんなで作り完成させる喜びや達成感を感じる為
- ・ 子どもが園庭に植えている桜の木を見て、上の方が枯れていることに気づき子どもたちがみんなですしたらいいのか考え、“木のお医者さん”の存在を知り、木の剪定をお願いする。

2. 活動スケジュール

- ・ 田植えを行い、ものづくりの大変さや喜びを感じる（5月）
- ・ 田の草取り・水生生物探しをする（6月）
- ・ 稲刈りを保護者の方と一緒に鎌で刈る（9月）
- ・ 園内研修等用いて職員に活動報告
- ・ 米の脱穀、精米を行う。（10月～12月）
- ・ 精米したお米を使って5歳児遠足の中で五平餅を作り食べる
- ・ 木の剪定を植木屋をお願いをする。木の剪定の見学。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・ バケツ・土（赤玉土・鹿沼土・黒土）・苗・鎌・野球ボール・すり鉢・ドライヤー

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・土に触れる

実際に子どもたち自身が作るバケツ稲の土づくりから子どもたちが行う。ドロドロや水っぽさなど様々な感触を味わう。

・観察する

日々の観察を行い、稲の生長を喜ぶ。

・田植え体験を行う

実際の田んぼに入って、苗を田んぼに植える。

・田の草取りを行う

保護者の方と一緒に田の草取りを行い、その後田んぼの中の生き物探しを行う。

・収穫をする

実際に鎌を使って保護者と一緒に稲の収穫を行う。

・米の脱穀・精米

米の脱穀をみなで協力しながら行い、精米にする

・精米にしたお米を使って五平餅を作る

米の柔らかさなど、子どもたち自身が相談しながら作る

・木の剪定の見学

実際に植木屋さんが剪定する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「ドロドロする〜!」と初めての田んぼの感触に大興奮な様子。田んぼの中を歩き進め、苗を植える位置につき、苗を手に取り「なんか葉っぱの下の法にお米がついてる!」と気づいた子どもたち。「これがお米になるんだね」と友だちにも教える様子が見られた。「今日の田植えが終わったら、次は草を取ったりしながら大きくなるのを待って、次は稲刈りするんだよ!」と伝えたと、楽しみ!と喜ぶ様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・1年間を通して作ってきたお米を使った活動の集大成として5歳児遠足での活動の中に組み込むことができたのは活動の中で子どもたちを主体としながら行えた。

・自然の中で子どもが自由に遊んだり、食べたりする姿が、子ども主体で行うことが出来た。

・子どもの気づきから、みんなで調べ、みんなの答えを見つけるといった活動を行う事で、子どもの考える力、知ろうとする力を改めて知ることが出来た。